

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

授業者 1組32名 主任教諭 井伊 智子
 2組31名 教諭 福永 航平
 3組31名 主任教諭 明石 司

1 単元名 『出動！地球レスキュー隊！～SDGsの力～』

2 単元の目標

SDGsについての調べ学習を通して、世界が抱える課題や世界各国の人々が行っている様々な取組を理解し、自分たちの身近な課題を見いだして解決に向けた取組を考え、実践し、日常生活に生かすことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身の回りにあるSDGsの課題を知り、自分たちにもできることがあることを理解している。 ②書籍やインターネット、取材を通して得た情報を集約して活用する方法を理解し、活用している。 ③自分たちにできる取組を考えることを通して、自分自身も社会を支える一員であることに気付いている。	①世界が直面している問題について実践の必要性を考えることを通して課題を設定し、解決に向けて計画を立てたり、計画を調整したりしている。 ②課題解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・関連付けたりしながら整理・分析し、解決に向けて具体的に考えている。 ③持続可能な開発の目標のためにできることを考え、適切な内容や方法を選択して表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、よりよい活動にしようとしている。 ②自分事としてSDGsを捉え、様々な情報から得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決の状況を振り返り、自己の生き方を考え自分自身も国際社会の一員として、よりよい社会に貢献しようとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領との関連

本単元は、学習指導要領の目標及び内容の取扱い、本校の重点目標を受けて設定した。

学習指導要領 総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

汐入東小学校 総合的な学習の時間の重点目標

- (1) 体験活動を重視した年間指導計画を作成し、自ら課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的な態度を育てる。
- (3) キャリア教育を基盤として、地域社会の中で人と関わり、自分のよさを生かす生き方を目指すとともに、積極的に町に関わり、町に貢献できる態度を育成する。

「総合的な学習の時間」年間指導計画（第5学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
70 時間	「出動！地球レスキュー隊！～SDGsの力～」（45） 清里移動教室（5） プログラミングに挑戦しよう（5） こども園交流（15）										

(2) 指導計画と教材について

本校では総合的な学習の時間に「SDGsの理解と実践」に取り組んでいる。SDGsは2015年に提唱され、8年経過している。目標達成を2030年と掲げてきたにもかかわらず、思うように進んでいないのが現状である。だからこそ未来を創る世代として現状とSDGsの必要性に目を向けさせた上で、子どもたち自身がどのように考え、自分事として捉え、アクションをどのように実践に向かわせるのか、一人ひとりの思いを大切にしながら進めることが大事だと考える。

1学期前半には子どもたちがSDGsの必要性を感じる導入と調べ学習を通してまずはおおまかな理解を深める。1学期後半は、SDGsの17の目標項目と身近な身の回りの課題を結び付けるとともに、子どもたちの実態調査を行い、その結果を踏まえ、自分や自分たちにできるアクションを考

えさせるようにする。2学期には1学期に考えたアクションをより具体的に精査、計画し、実践に移す。また、1回目のアクションを振り返り、見直すことで2回目のアクションを実践し、よりよく継続的に活動していく。3学期には取り組んで何がどう変わったかを振り返り、全校児童や保護者に向けて発信させたい。「みんなにSDGsのことを伝えたい。」と導入時当初に抱いていた児童の思いは、実践したからこそ説得力のあるものとして発信できるのではないかと考える。そのことによって、児童に達成感や充実感を感じさせるとともに、今後持続可能な活動として大人だけでなく自分達も取り組んでいかなければいけないことを改めて考えさせたい。これまでの取組を持続させよう、伝えようとする思いや姿勢が自分の生活や行動に生かされた時、「深い学び」が実現できると考える。

5 児童の実態

4月に実施した研究に関する児童のアンケート調査の中で高かった項目は、「話し合いの中で自分の考えを伝えることができる」「話し合いの中で友達の話を考えて聞き、自分の考えを広げたり深めたりできる」であった。対話的、協同的な学習の積み重ねが反映された結果と考える。その良さを生かし、学習内容を共有することで新たな気づきを得たり、実生活や既習事項と関連させたりすることで、児童が「自分事」として課題を追究できるような授業展開をしていきたい。

6 研究主題に迫る手だて

本校の考える総合的な学習の時間で目指す深い学びの姿

既存の知識・技能や他者の考えをつないだり、情報を取捨選択したりして自らの考えを形成することで、学びに対して有用感を感じることができるとともに、自己の生き方を見つめ直すことができる児童。

本単元で目指す子どもの姿

持続可能な社会を実現するために、学んだことを生かしながら実生活を送ることができる。

(1) 地域資源の活用

①身近な地域人材の活用

1学期には、本校校長や食品企業の方などをゲストティーチャーに招き、SDGsをより多角的な視点で捉えられる時間を設定した。また、新聞社主催の「SDGs川柳コンテスト」に作品を応募することでSDGsへの問題意識を深めた。

2学期には、本校の主事の方々、栄養士や給食調理員の方々、地域の公園管理事務局、こども園などと連携を図り、SDGsのアクションについて考える機会を設ける。身近な社会、学校の中でできる課題を限定することは、児童にとって遠い存在のSDGsを身近な活動に引き寄せることができ、社会参画の基盤となる。

②タブレットPC、図書館資料、「人」からの情報収集

必要な情報を様々な視点で収集できるように、有効なWebサイトの紹介と活用法を伝える。また、図書館司書と協力し、テーマに即した図書資料を準備する。また、保護者から知恵や情報も得られる機会を作る。

(2) **単元構成の工夫**

①段階的な学習過程

課題解決のために、まずは「知ること」から始まり、その上で「できることはないか。」という児童発信の課題設定の時間を設けた。その後「取り組めることを考える。→グループでアクション案を考える→伝え合い、話し合う。→アクション内容を見直す→実践パートⅠ→途中報告会→実践パートⅡ→取り組んだ成果を評価する」の過程を経て、無理なく継続的に目標達成への段階を踏めるようにする。

②的確な教師の支援

学習活動の中で、児童の意識や意欲を促すアプローチ、見通しや軌道修正の大切さなどの適切なアドバイス、評価規準の実現に至らない努力を要する児童への手だての用意、課題達成への道筋の示唆など教師がコーディネート役に徹し、児童の思いや考えを具現化する助けとする。

③話し合いの積極的な活用

学習の中で、一つのテーマや個人が調べたことや考えたことなどをペアやグループで話し合う場面を意図的に取り入れていく。他者と意見交流する中で、自分の考えを広げたり、深められたりするようにする。

(3) **思考を深めたり、広げたりする活動**

①探究のプロセスの繰り返し

これまでの総合的な学習の時間等で培ってきた、探究のプロセス（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）を提示し、折に触れて確認することで、見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。

②効果的ワークシートの活用

毎時間のめあてや思考の流れに即したワークシートを活用することで、児童が自らの学習の経過を記録していき、次の学習をより良くしたり、自分の学習の積み重ねを実感できるようにしたりする。

③継続的な「ふりかえりシート」の活用

自分の達成度や到達度、成長などを実感し、次時へつなげられるよう全校共通の「ふりかえりシート」を毎時間の終わりに記入させる。また、教師は児童の振り返りに対して、コメントやメッセージを送ることで、意欲や有用感をもてるようにする。

7 指導と評価の計画（全45時間）

小単元名 (時数)	○主な学習活動 ・ 内容	評価規準			評価方法 ※資料 ☆研究主題に 迫る手だて
		知	思	態	
地球が抱えている問題とSDGsについて知ろう！ (11時間)	1学期：SDGsについて 知ろう！				発言内容 行動観察 総合ノート (3)思考を深めたり、広げたりする活動②
	SDGsの目標や地球が抱えている課題について調べよう。				
	○地球が抱えている課題に気づき、SDGsと出会う。 ○今後の学習の見通しをもつ。	①			※PCサイト ※図書資料
	○SDGs 17の目標項目を調べ、おおまかな課題と取組を知る。 ○今関心がある目標を選択する。	②			
	○前時に選択した目標に関連する問題について調べる。 ○自分ができそうなアクションについて考える。	②	③		☆(1)地域資源の活用②
		③			
	SDGsをより広い視点で知り、問題意識をもと				☆(1)地域資源の活用①
	○身近にあるSDGsに関連したマークを探す。			②	
	○海外の生活や文化の話からSDGsについて考える。 【校長先生による特別授業「メキシコの暮らし」】	①			※食品企業資料
	○企業や団体が実践しているSDGsの取組を調べる。			②	
	○企業が取り組んでいるSDGs活動について知る。 【食品企業による出前授業】	①	②		作品
	○SDGsに関する川柳を作成し、新聞社主催の「SDGs川柳コンテスト」に応募する。			③	
	○1学期の学習を基に、自分たちがアクションを起こせそうなSDGs目標について考える。			①	総合ノート

アクションを起こそう！ 【ステップ1】 (11時間)	2学期：出動！アクションを実行しよう！			行動観察 総合ノート 発言内容 話し合い ☆（2）単元 構成の工夫① ☆（2）単元 構成の工夫② ☆（3）思考 を深めたり、 広げたりする 活動① ☆（3）思考 を深めたり、 広げたりする 活動①・③
	取組内容について具体的に計画を立てよう ○1学期に立てた計画を基に、2学期の活動の見通しをもつ。 【ステップ1】「身近なSDGsに取り組もう！」 ・SDGsに関連した自分たちの課題を見付け、アクションを考え、実行する。 【ステップ2】「地域のSDGsに取り組もう！」 ・各クラスが「汐入東小」「汐入公園」「こども園」のいずれかと連携し、アクションを考え実行する。 〔各ステップのアクション案の項目〕 ① 目標項目に対する実態調査（内容と方法） ② 課題解決のアクションの思考と実行（内容と方法） ③ アクション後の効果（評価）	③	①	
	身近でできるSDGs活動に取り組もう ○1学期末に考えたアクションを起こせそうなSDGs目標ごとに、グルーピングをする。 ○アンケートやインタビュー調査をして、各クラスの課題を把握する。 ○クラスの課題に対して、どのようなアクションを起こせるかを考える。	②	②	
	○グループに分かれ、アクションの準備をする。		① ②	
	○アクションを実行する。		③	
	○アクション後、再びアンケートやインタビュー調査を行い、アクションを評価する。 ○グループごと、取組、成果、課題について発表する。		④	

アクションを起こそう！ 【ステップ2】 (13時間) (1組本時)	地域や学校の中でできるSDGs活動に取り組む ○連携先が抱える課題について予想し、実態を知るための質問やインタビューする内容を考える。 ○連携先の方をゲストとして招き、現状の課題について質問したり、話を聞いたりして実態を把握する。	①			行動観察 総合ノート 発言内容 話し合い ☆(2) 単元構成の工夫①
	○連携先に対して、どの目標項目で、どのようなアクションを起こせるかについて考える。 ○グループに分かれ、アクションの準備をする。	②	②		☆(3) 思考を深めたり、広げたりする活動①・③
	○アクションを実行する。		④	③	
	アクションを振り返り、評価し合おう ○各グループのアクションを紹介する。 ○アクション後、連携先の方を再びゲストとして招き、話を聞くことでアクションを評価する。 ○自己の活動を振り返る。	①		③	話し合い 発表 発言内容 総合ノート ☆(1) 地域資源の活用① ☆(3) 思考を深めたり、広げたりする活動③
アクションの成果を発表しよう！ (10時間)	3学期：まとめよう！広めよう！ みんなに実行したアクションを伝えよう ○学年と保護者にアクションの目的と内容、成果、今後協力してほしいことをどんな形で発信するか考える。 ・グループごとに効果的な発信の仕方を考え、全体で話し合い、計画を立てて発信する。 ・単元の振り返りを行い、SDGsの取組の意義とこれからの生活の仕方に目を向ける。 ・学年向け発表会と保護者向け発表会を開く。		②	③	話し合い 発表内容 発表形式 総合ノート 作品

8－1 本時の学習 (28/45)〔5年1組〕

(1) 目標

汐入公園の方へのインタビューを通して、汐入公園の課題について知り、自分たちにできることを考える。

(2) 展開

時	○主な学習活動 ・内容 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆【評価規準】(評価方法) ☆研究主題に迫る手だて
5分	○本時の内容とめあてを確認する。 ・ゲストティーチャーの紹介とインタビューの仕方を確認する。	□予想した課題を基に3つのグループに分けておく。 □視覚的に分かるように、前時に予想した課題を模造紙に貼っておく。
	インタビューを通して、汐入公園の課題を知り、自分ができるようなことを考えよう。	
20分	○グループに分かれ、インタビューをする。 ①汐入公園の課題、現状を知る。 ○事前に予想した課題や質問 ↓ 質問に対する回答や現状の話 ↓ 新たに生じた質問、疑問 C：ポイ捨てをする人がいるのではないか。 C：遊び方のルールを守らない人がいると思う。	□限られた時間の中で、効率的に話が聞けるように、司会者、記録者、インタビューする順番を決めておく。 □机間巡視をし、進行状況の把握や、必要に応じた指導助言をする。 ☆(2) 単元構成の工夫① □自分事として捉えやすくなるよう、ゲストティーチャーには具体的な事例を話してもらうよう事前に依頼しておく。
15分	②公園サイドの希望を確認する。 ○質問の回答やインタビューして分かったことを付箋に書いて模造紙に貼る。 C：予想通りごみが多く捨てられていると分かった。 C：公園の人は、けがをしないために、遊びのルールを守ってほしいと思っている。 ○インタビューを通して知った汐入公園の課題を確認し、解決のために考えられるアクションを付箋に書く。 C：ポスターを作ってみんなに見てもらう。 C：他の学年にも呼び掛けて公園のルールを知ってもらう。	☆(3) 思考を深めたり、広げたりする活動① □視覚的に分かりやすくなるように、インタビューで知った情報を付箋に書いて模造紙に貼る。 ☆(1) 地域資源の活用① □自己満足なアクションにならないよう、思い付いたアクションをゲストティーチャーに伝え、意見をもらう。 ◆【知－①】 汐入公園の課題を知り、自分たちにもできることがあると理解している。 (話し合い・発言内容)

	○考えたアクションについてグループで共有し、ゲストティーチャーに提案したり、助言をもらったりする。	<支援を要する児童への手だて> どのような話題が進んでいるか、模造紙を見て確認するよう伝える。
5分	○本時を振り返る。 ・インタビューを通して知った汐入公園の課題がSDGsのどの目標に関わるか確認する。 ・「ふりかえりシート」を使用し、本時の自分の姿を振り返り、次時への見通しをもつ。 C：インタビューで汐入公園の課題がよく分かった。 C：ゲストティーチャーに助言してもらったことを生かして、アクションをよりよいものにしたい。	☆（３）思考を深めたり、広げたりする活動③ □「ふりかえりシート」を活用し、どのくらい「深い学び」の姿に近付けたかを振り返る。

（３）板書計画

出動！地球レスキュー隊！～SDGsの力～				
インタビューを通して、汐入公園の課題を知り、自分ができそうなことを考えよう。 <本日のゲストティーチャー> 汐入公園サービスセンター <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> センター長 〇〇さん </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> 副センター長 〇〇さん </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%;"> 〇〇さん </td> </tr> </table>	センター長 〇〇さん	副センター長 〇〇さん	〇〇さん	本日の流れ ① 予想した課題 ② 予想以外の課題 ③ 汐入公園の皆さんの願い ④ 考えられるアクション
センター長 〇〇さん	副センター長 〇〇さん	〇〇さん		

8-2 本時の学習（29／45）〔5年2組〕

（1）目標

汐入東小学校への調査を基に、自分達ができる実現可能なアクション内容を考えることができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C予想される児童の反応	□指導上の留意点◆【評価規準】（評価方法） ★研究主題に迫る手だて
3分	○本時のめあてを確認し、活動への見通しをもつ。 ・前時で知った汐入東小学校の課題を確認する。 C：自分たちができるアクションを考える。 C：アクションを考え、出し合う。	□前時に次時のめあてを決めておく。 □前時のインタビューで知った汐入東小学校の課題を模造紙に貼っておく。
	調査内容から自分たちができるアクションを考え、出し合おう	
12分	○調査内容を基に、個人でどのような活動ができるか考える。 ・アクション名やその活動を行いたい理由、目的を書く。 ・詳しい活動内容（①相手②期間③方法④内容）を書く。 C：みんなが給食を残さず食べられるような献立を考えて、栄養士の先生に提案したい。 C：汐入東小学校の子どもたちがもっと仲良くなれるようにイベントを考えたい。	□ステップ1で行った活動を想起しながら、連携先ではどのようなアクションが実行できるか考えるように促す。
15分	○個人で考えたアクション内容をグループごとに共有し、ブラッシュアップする。 ・詳しい活動内容を紹介する。 ↓ ・疑問点、追加・変更点、注意点を出し合う。 C：バランスの良い献立について栄養士の先生にアドバイスをもらおう。 C：時間やイベント場所をどうするか考えよう。	☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動① □児童が考えたアクション内容が①実行可能か、②さらに工夫することはできるかの2つの視点を提示し、意見をブラッシュアップする。 ◆【思一②】 必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・関連付けたりしながら整理・分析し、解決に向けて具体的に考えている。（ワークシート・発言） <支援を要する児童への手だて> タブレットPCや図書資料を用意しておき、SDGsについて調べながら、活動を考えることができるようにする。
10分	○考えた意見をクラスで共有する。 ・自分の考えた活動を紹介し、学級全体に共有する。	□アクション活動を児童が見やすいようにSDGsの開発目標ごとに整理する。

	C：全校児童を巻き込んでイベントを行い、仲良くなってもらおう。 C：残飯を減らすために、残さず食べられる献立を提案する。	
5分	○本時の振り返りをし、次時への見通しをもつ。 ・「ふりかえりシートA」を使用し、本時の自分の姿を振り返り、次時への見通しをもつ。 C：詳しい活動内容を決めて準備したい。 C：他にできる活動はないか、もう一度考えたい。	□振り返りを基に、次時への活動を決める。

(3) 板書計画

出動！地球レスキュー隊！～SDGsの力～

調査内容から自分たちができるアクションを考え、出し合おう

見通し

① 活動の内容を考える
(理由・目的・対象・期間・内容)

② グループ紹介
→疑問点、追加、変更点、注意点

③ 全体共有

SDGs 開発目標のマーク画像

・アクション名
・対象

SDGs 開発目標のマーク画像

・アクション名
・対象

SDGs 開発目標のマーク画像

・アクション名
・対象

SDGs 開発目標のマーク画像

・アクション名
・対象

ふりかえり

・もっと詳しく活動内容を決めて準備したい。

・他にできる活動がないかももう一度考えたい。

8-3 本時の学習（33／45）〔5年3組〕

（1）目標

グループごとに実行したアクションについて発表したり、連携先の方をゲストとして招き、話を聞いたりして、アクションを評価することができる。

（2）展開

時間	○主な学習活動 ・内容 C 予想される児童の反応	□指導上の留意点◆【評価規準】（評価方法） ☆研究主題に迫る手だて
5分	グループごとに実行したアクションを紹介し、活動を自己評価しよう。 ○めあてと学習の流れを確認する。 ・グループごとの発表 ・こども園の職員の方からの話 ・自己の活動の振り返り	□「評価」の意味を確認する。 ・実行したアクションの結果や効果、自己の活動への振り返りを確認する。
20分	○グループごとに実行したアクションを紹介する。 ・汐入こども園の園児に向けて、事前に準備したプレゼンテーションを使って、実行したアクションについて発表する。 C：絵本の楽しさを伝えるために読み聞かせをしました。 C：健康のために手洗いの仕方を教えました。	□発表の際の話し方・聞き方を確認する。
10分	○こども園の職員の方から、アクション実行後の園児の様子について話を聞く。 【事後の変容の様子】	☆（1）地域資源の活用① □ゲストティーチャー（こども園の職員）を招き、アクション後の園児の様子を話してもらうことで、具体的な評価ができるようにする。
10分	○アクションを起こした経験と、こども園の職員の方からの話を受けて、自己の振り返りをする。 【有用感の自己評価】 ・「やってよかった」と思えたか。 ・「続けたい」と思えたか。 ・「広めたい」と思えたか。 C：こども園の子のためにアクションを起こせてよかった。 C：こども園の課題が改善されてうれしい。 C：これからもSDGsを意識していきたい。 C：自分たちがやったことを他のクラスにも知ってもらいたい。	☆（3）思考を深めたり、広げたりする活動③ □アクション実行に対する「有用感」を確認できる「ふりかえりシート」を用意し、内容を確認する。 ◆【主一③】 学習したことをふりかえり、学んだことを今後も日常生活で生かそうとしている。（ふりかえりシート・観察） <支援を要する児童への手だて> 学習してきたことを一つ一つ確認し、質問しながら、今までの学習を一緒にふりかえる。

(3) 板書計画

出動！地球レスキュー隊！～SDG s の力～

グループごとに実行したアクションを紹介し
活動を自己評価しよう。

汐入こども園の先生からの話

評価：○アクションの結果・効果はどうだったか。

→ こども園の先生から

○「やってよかった」と思えたか。

「続けたい」と思えたか。

「広めたい」と思えたか。

→ ふりかえりシート

・給食の残飯が減った。

・絵本を手にとる子が増えた。

・外遊びが活発になった。

